

沖縄人材カレッジ

新型コロナウイルス感染症拡大予防マニュアル

本マニュアルは、弊社が定める「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン（指針）」に準拠して、感染防止のマニュアルとして策定したものです。

受講生は本マニュアルを遵守され受講されることをお願いいたします。

1. 以下のチェック項目に基づき受講生の受講状態を確認します。

- 受講生の体温測定 受講生の手指消毒の徹底
- 受講生に対するマスク着用の徹底

2. スクーリングの基本的な感染拡大予防策

① スクーリング実施日の検温・体調確認。

自宅での体温測定、健康観察を実施し健康状態申告書（別添：様式1）へ記入し提示する。
必要に応じて教室へ入る前に検温を実施する。

※37.5℃以上の方は受講不可とする。検温拒否の場合も同様とする。

※体温計は都度アルコール消毒を行う事。

- ② 風邪の症状や 37.5℃以上の発熱、あるいは 37.5 度未満でも強いだるさ・倦怠感、息苦しさがある。以上の症状が認められる際には、受講を控える。
- ③ 教室にてあきらかに体調不良と見受けられる受講生は受講ができない。
欠席の場合は、後日、補講対応とし補講に係る費用は基本無料とする。
- ④ 授業開始前・終了後はアルコール手指消毒液や液体石けんによる手洗いを徹底する。
- ⑤ マスクの着用必須とする。
- ⑥ 講師及び事務局職員も、マスク着用を必須とする。
- ⑦ 入り口に消毒用エタノールを設置し手指消毒を行う。
- ⑧ 教室内の定期的な換気を実施（概ね1時間ごと）、共有する物品（テーブル、いす等）は、定期的に消毒する。
- ⑨ 他受講生との十分な距離を取るため、座席は1m以上の間隔を空ける。
- ⑩ 施設・教室利用上の留意事項を作成し、掲示・配布する。
※手洗い方法、ペーパータオル設置（ハンドドライヤー禁止）、トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示、蓋付ゴミ箱の設置等
- ⑪ 新型コロナウイルス接触確認アプリ利用の協力要請を行う。

施行日：令和2年10月1日

！感染症対策 へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪を外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのぼすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗います。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する（口・鼻を覆う）

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



沖縄人材カレッジ

新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン（指針）

本ガイドライン（指針）は、新型コロナウイルス感染症拡大予防を目的に定めた指針であり、弊社が主催する研修会に参加される受講生は、本ガイドラインを遵守するとともに、具体的な感染防止策は別に定める「新型コロナウイルス感染症拡大予防マニュアル」により実施するものとし、本ガイドライン遵守する証として、受講生は「誓約書」を提出するものとする。

【体調チェックについて】

①研修期間中は登校前・休校日の自宅での体温測定、健康観察を実施し、健康状態確認表・研修出席簿（別添：様式1）へ記入し、当校時に事務局へ提出する。

※必要に応じて教室へ入る前に受付にて再度検温する。

※同居するご家族・勤務先について、風邪症状等の確認を行い症状がある場合は申告をする。

②風邪の症状や 37.5℃以上の発熱、あるいは 37.5 度未満でも強いだるさ・倦怠感、息苦しさがある。

以上の症状が認められる際には、受講ができない。

【受講生の遵守事項】

① 本研修期間中は、私生活においても所謂「3密」の状況にならないよう注意する。

② 授業開始前・終了後は手洗いをを行う。

③ マスクの着用を厳守し、マスクを持たない者はマスクに代わるものをご用意する。咳やくしゃみをする際には、口と鼻をティッシュ等で覆うなど、他の方へのご配慮を行う。

④ 教室にてあきらかに体調不良と見受けられる者は、受講ができない。

⑤ 欠席の場合は、後日、補講対応とし補講に係る費用は基本無料とする。

⑥ 体調に変化が見られ、心配な点を感じる際は無理して受講せず、自宅で休養・回復に努める。

⑦ 受講生に感染者が出た場合における保健所の聞き取り調査への協力を行う。

⑧ 濃厚接触者と判断された場合や海外（感染流行国）・又は国内の感染流行地域（クラスター等）への渡航後は、14 日間を目安に自宅待機を行う。

⑨ 新型コロナウイルス接触確認アプリ利用を行う。

【沖縄人材カレッジの感染予防対策】

① 講師及び事務局職員も、マスク着用する。

（就業前の体温測定、手指消毒を徹底する。）

② 教室内のテーブル・椅子・ドアノブは亜塩素酸水による除菌を実施する。

③ 入り口に消毒用エタノールを設置する。

④ 教室内の定期的な換気を実施する。

⑤ 共有する物品（テーブル、いす等）は、定期的に消毒を行う。

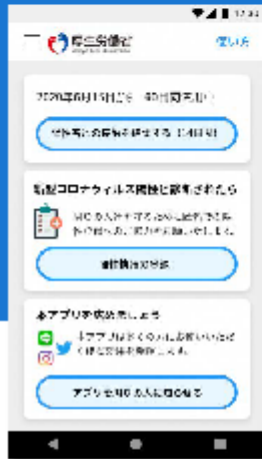
⑥ 受講生との十分な距離を取るため、座席はソーシャルディスタンスを確保する。

⑦ 教室内及びその周辺は禁煙とする。

施行日：令和2年10月1日

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。



*画面イメージ

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取る
ことができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはありません
- ・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※記録は14日経過後に無効となります
- ※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら

